



## いち ゆ の湯

### 重伝建地区で注目のレトロ銭湯 移住の山本さん奮闘の末、ついに復活！

重伝建地区に佇む銭湯「一の湯」がこの春、待望の復活を果たした。

新たな一の湯の「番頭」は、昨年4月に埼玉県から桐生へ移住した山本真央さん。一の湯は平成30年に後継者不在のため廃業していたが、山本さんは桐生の知人の案内で数年前にこの建物に出会うと、その佇まいに魅了され、自らの手で一の湯を再生したいと桐生への移住を決断。カフェなどの業態での活用も勧められるなか、山本さんはあくまで「銭湯」としての復活にこだわった。

一の湯は大正元年には銭湯として営業していたとされ、築百年を超える建物は趣に満ち溢れる一方で老朽化も激しく、配管関係や衛生環境の整備など多額の修繕が必要な状態だったが、(株)シカクの今氏一路社長をはじめ地域のあらゆる事業者や桐生工業高生の協力と、クラウドファンディングを通じた支援を受け奮闘しつつ整備を進め、ついに公衆浴場としての営業許可を取得。今年4月15日に晴れて一般営業を開始した。復活後は地元民のみならず県外か

からも多くの入湯客が訪れ、伝統的物件の活用が進む本町一・二丁目界隈にあつて観光資源としての期待も膨らむ。銭湯としての要素のみならず、建物内外の渋さも含め「アトラクション」のように楽しんでほしいと語る山本さん。活力溢れる新番頭のもと、「一の湯」の第二章が幕を開けた。



#### 【一の湯】

- 住所／桐生市本町1丁目4-35
- 営業時間／17：00～23：00  
(日曜日は7：00～13：00)
- 定休日／月曜日、7の付く日(7・17・27日)
- @ichinoyu.kiryu

